



開催日 1日目／2018年10月27日(土) 11:00～17:00(18:00～20:00 交流会)
2日目／2018年10月28日(日) 9:00～12:00

会場 山都町役場蘇陽支所 (〒861-3913 熊本県上益城郡山都町今500)

定員 1日目・基調講演、分科会／300人 2日目・パネルディスカッション／300人

参加費 1日目 3,500円 2日目 2,000円 2日間 5,500円 2日のみ参加者資料代 1,000円 交流会参加費 3,500円

締切 2018年10月5日(金)

お問い合わせ先 **山都町社会福祉協議会** TEL.0967-82-3345、**山都町役場福祉課** TEL.0967-72-1229

事務局 特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター(CLC)
〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16-30 シンエイ木町ビル1F
TEL:022-727-8730 FAX:022-727-8737 E-mail:clc@clc-japan.com
営業時間:土日祝を除く平日9:00～18:00

〈ご注意〉
・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付き ATM でもご利用いただけます。
・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
・この用紙による、払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。
・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

3万円以上
貼付

印

この場所には、何も記載しないでください。



第6回 町内・集落福祉全国サミット

「集落」から「集楽」へ
～みんなでかたろい、支え合いの地域づくり～

in 熊本・山都町

開催日 2018年10月27日(土)・28日(日)
会場 山都町役場蘇陽支所 (〒861-3913 熊本県上益城郡山都町今500)

〈主催〉第6回町内・集落福祉全国サミットin熊本・山都町実行委員会 〈共催〉山都町社会福祉協議会、山都町
〈主管〉全国コミュニティライフサポートセンター(CLC) 〈後援〉熊本県、熊本県社会福祉協議会、熊本県町村会

開催趣旨

全国的に中山間地域の過疎化、少子・高齢化が進み、集落の維持・存続さえ懸念される状況になっています。山都町は総面積の約7割を山林が占め、中山間地域に多くの集落が点在しています。それぞれの集落は、長い歴史のなかで受け継いできた多様な伝統と文化を持っています。これを生かして「持続可能な集落」を目指す、創意工夫にあふれた実践があります。

その実践をととして集落の将来像を考え、住民の「やる気」と「元気」を広く全国に発信するとともに、熊本地震からの復興と復興以降の道筋を描き、さらには地域の支え合いから地域づくりへとつなげて行くことを目的に「第6回町内・集落福祉全国サミットin熊本・山都町」を開催します。



風かおる、文楽と石橋の郷 山都町
～星と森、そして水の生まれる里～



10月27日(土) ● 1日目(基調講演・分科会)

11:00～12:00	受付 会場／エントランスホール
12:00～12:30	オープニング 会場／営農ホール ●山都町30地区福祉会「福祉劇」
12:30～12:40	開会式 会場／営農ホール 〈主催者挨拶〉 実行委員長 梅田 穰(山都町社会福祉協議会 会長)
12:40～14:10	基調講演 会場／営農ホール(300名) 中山間地域では、急激な人口減少や少子高齢化が大きな課題となっていますが、集落を維持していくための創意工夫や連携に溢れた実践が数多くあります。 その地域づくりのヒントを参加者全員で共有します。 ●演題 「やる気」と「元気」を育む地域づくり ●講師 大阪府立大学 教育福祉学類長 小野 達也
14:10～14:20	休憩
14:20～14:50	清和文楽披露 清和文楽は江戸末期、山都町(旧清和村)を訪れた淡路の人形芝居一座から浄瑠璃好きな村人が人形を買い求め技術を習得したのが始まりです。文楽の一座は農家の人々で構成され、文楽館での公演や各地での公演を通し、伝承されています。 ●演題 「雪おんな 船頭小屋の段」 ●出演 清和文楽の里協会
14:50～15:00	移動
15:00～17:00	分科会1～3
18:00～20:00	交流会 会場／そよ風パーク



分科会1

地域の伝統をつなぐ

会場
宮農ホール(170人)

農村文化の伝統をつなぐ地域づくりの実践を紹介し、
伝統文化を守り続ける意義と守り続ける人たちの心に迫ります。

●パネラー

清和文楽の里協会(熊本県山都町) 太夫 竹本 友清
清和文楽人形芝居保存会(熊本県山都町) 会長 片山 勇次
ばばくす馬場楠区(熊本県菊陽町) 区長 上村 隆一
白馬会(熊本県菊陽町) 会長 緒方 利一
吹上ワンダーマップ実行委員会(鹿児島県日置市) 会長 博多 和宏(情熱家)

●サポーター

内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局 内閣参事官 中野 孝浩
全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘

●コーディネーター

熊本学園大学 准教授 今吉 光弘

清和文楽の里協会 (熊本県山都町)

清和文楽は、約170年前の江戸時代嘉永年間から地元の農家の方々の手によって今日まで傳承されている。平成4年に清和文楽館が開館し、年間180回の公演や出張公演、小学校への指導も行われている。

ばばくす 馬場楠区

お法使祭の神事の際に舞う「馬場楠の獅子舞」戦後、有志各位の尽力により復活し現在に至る。伝統文化を後世に傳承することだけでなく、季節を通して農作物を育て、交流していく活動がサロンとなり地域の繼承につながっている。

吹上ワンダーマップ実行委員会 (鹿児島県日置市)

イベントによって一時的に盛り上がるのではなく、恒久的に輝く地域をアートを通してつくる事を趣旨として開催。アーティスト自身も地域と一緒に豊かになるために慣例にとらわれず、地域や行政と協働しながらさまざまな取り組みを続けている。



分科会3

みんなが主役になる地域づくり

会場
多目的会議室(80人)

廃校跡を活用した地域コミュニティづくりや、集落の資源を活用した取り組みの実践を紹介し、中山間地域で育む元気ある地域づくりの可能性を探ります。

●パネラー

東竹原自治振興区(熊本県山都町) 元会長 栗屋 克範
大野自治振興区(熊本県山都町) 会長 坂本 美喜雄
合同会社フットパス研究所(熊本県美里町) 代表 井澤 るり子

●サポーター

農林水産省 林野庁企画課 課長 山口 靖

●コーディネーター

(有)ひとちいき計画ネットワーク 代表取締役 佐伯 謙介

東竹原自治振興区 (熊本県山都町)

一部の農家で継承されて来た幻のみさお大豆を復活。みさお大豆を活用しフットパスや地域住民の生きがいづくりに取り組む。



大野自治振興区 (熊本県山都町)

旧大野小学校跡地を活用して、住民によるフィールドワークを実施。校舎を利用してワンコインランチやサロンを行う。四季折々のイベントを計画し町外からの参加者も多い。旧大野小学校を中心に様々な地域の取り組みを展開する。

合同会社フットパス研究所 (熊本県美里町)

美里町のありのままの地域の社会資源を活かして住民と一緒に作り上げたフットパスコースが15コース。「歩く」活動をとおして地域活性化の取り組みや熊本地震後の地域コミュニティ形成のアドバイス等の活動を行う。



分科会2

災害からの復興、支え合いを通じた地域づくり

会場
土地利用調整室(50人)

熊本地震後の長期専門ボランティアへの後方支援に関わった集落と、ボランティア団体との支え合いの取り組みを紹介し、この実践からの地域づくりを考えます。

●パネラー

中島西部地区社会福祉協議会(熊本県山都町) 会長 渡邊 忠幸
NPO法人にしはらたんぼハウス(熊本県西原村) 施設長 上村 加代子
熊本地震・共同支援ネットワーク 幹事 屈 保憲
(淡路市社会福祉協議会 事務局長)

●サポーター

厚生労働省 企画官 本後 健
(前社会・援護局 生活困窮者自立支援室長)

●コーディネーター

宝塚市社会福祉協議会 常務理事 佐藤 寿一

中島西部地区社会福祉協議会 (熊本県山都町)

熊本地震後活動拠点提供と合わせて、被災地で支援活動する専門職に対して町内の地区社協や各種団体と協働して食事の提供を行った経験などから、地域の見守りや支え合いの意識に変化があらわれた。

NPO法人にしはらたんぼハウス (熊本県西原村)

西原村にある就労支援事業所。地域の住民や子供たちとつながりを持ち、障がい者のみならず、高齢者やホームレスなど、社会的孤立に陥った様々な人の支援を行う。熊本地震時もボランティア後方支援を行う。

熊本地震・共同支援 ネットワーク

東日本大震災の際に宮城県を中心に介護職や看護職などの専門職ボランティアを、福祉避難所や施設などへ派遣、福祉避難所や施設、在宅要援護者に必要な物資を届けることを目的に活動した「東北関東大震災・共同支援ネットワーク」の経験をもとに活動。熊本県との連携で、特に避難所における要援護者の支援を中心に、支援活動に取り組む。



10月28日（日） ● 2日目

パネルディスカッション

9:00～9:30	受 付 会場／エントランスホール
9:30～11:50	<div>パネルディスカッション 会場／営農ホール</div> <div>住民主体による地域の支え合い</div> <div>1日目の3つの分科会をまとめ、住民主体による地域の支え合いを深く掘り下げ討論します。その中から、「やる気」と「元気」を育み、すべての住民が参加できる中山間地域の地域づくりのあり方を、参加者と一緒に考えます。</div> <div>●パネラー</div> <div>白糸第一地区社会福祉協議会（熊本県山都町） 会 長 坂本 憲義</div> <div>中津市社会福祉協議会地域福祉課（大分県中津市） 生活支援コーディネーター 梶原 豊美</div> <div>●サポーター</div> <div>内閣官房</div> <div>まち・ひと・しごと創生本部事務局 内閣参事官 中野 孝浩</div> <div>厚生労働省（前社会・援護局 生活困窮者自立支援室長） 企 画 官 本後 健</div> <div>農林水産省 林野庁企画課 課 長 山口 靖</div> <div>熊本県健康福祉政策課 主席審議員 沼川 敦彦</div> <div>熊本県社会福祉協議会 事 務 局 長 吉本 裕二</div> <div>●コーディネーター</div> <div>大阪府立大学 教育福祉学類長 小野 達也</div> <div>白糸第一地区社会福祉協議会（熊本県山都町）</div> <div>地区社協独自の生活支援サポーターを養成し小地域ごとにサロンを立ち上げた背景について紹介。社協長の熱意に心動かされたサポーターたちのアイディアと工夫そして思いが更に地域を動かす。</div> <div>中津市社会福祉協議会（大分県中津市）</div> <div>寄り合いの場や住民型有償サービス等、住民が主体的に行なう地域福祉活動を地域性に応じて推進している。市内で最も過疎高齢化が進んでいる山国地区で住民と共に取り組んだ地域の「お宝探し塾」について紹介。</div>
11:50～	閉会式 会場／営農ホール
	●閉会 実行委員会 津川 則光

山都フットパス

9:00～9:30	受 付 会場／エントランスホール・オリエンテーション
10:00～12:00	<div>山都フットパス</div> <div>「馬見原歴史散策コース」 定員40名</div> <div>肥後と日向を結ぶ古道「日向往還」の中心にあつて宿場町、主要交易地として栄えた馬見原。この地を訪れた歌人・若山牧水は「馬見原はシャレタ町ナリ」と称賛しました。今なお昔の風情を残す白壁土蔵造りの家並みや石畳は「くまもと景観賞」「くまもと歴町50選」「くまもと観光大賞」にも選ばれています。五ヶ瀬川の清らかな流れや美しい森、田園風景も合わせて楽しんで下さい。</div>

フットパスとは

積極的に歩くことを楽しんでいるイギリスが発祥です。里山や田園風景、古い街並みなど、昔からその地域に残るありのままの風景の中をゆっくりと心と体で感じながら歩きます。歩くことで見えてくる地域ならではの風景や、それを守ってきた地元の人との温かな触れ合いが、フットパスの何よりの楽しみ方です。



郵便局よりお願いいたします。

お振込は右記の用紙にて最寄りの

00		払 込 取 扱 票									
		口座記号番号									
0 2 2 3 0 1		1 3 6 5 7 8									
金 額		千 百 十 万 千 百 十 円									
※											
料 金		備 考									
加入者名		C L C 東 日 本									
※											
通 信 欄 ・ ご 依 頼 人		町内・集落福祉全国サミット in 熊本・山都町									
※											
おなまえ											
（ご連絡先電話番号		様									
- -		日 附 印									
裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）											
これより下部には何も記入しないでください。											

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0 2 2 3 0 1									
	1 3 6 5 7 8									
加入者名	CLC 東日本									
金 額	千 百 十 万 千 百 十 円									
※										
おなまえ										
※										
ご 依 頼 人	様									
(消費税込)	日 附 印									
料 金	円									
備 考										

この受領証は、大切に保管してください。